

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	木津川市立木津中学校	階数	地上4F
建設地	京都府木津川市相楽高下4番8他6	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,520 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2012年7月8日
敷地面積	23,838 m ²	作成者	
建築面積	2,273 m ²	確認日	2012年7月10日
延床面積	8,091 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 76%
 ③上記+②以外の 75%
 ④上記+ 75%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 ●南北に居室、東西にコア、非居室を配置し、建物全体の熱負荷を配慮●ツインコリダー型とし面積効率の向上		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 ●複層ガラス・南面開口部に庇を設置し温熱環境、光環境の向上	Q2 サービス性能 ●教育内容の変化や間取りの変更に対応する為、外壁・柱・梁は高耐久なフレーム、内部は入れ替え可能な乾式間仕切壁●バランスの良いスパン割、階高設定による安定度の高い構造	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー ●複層ガラス・南面開口部に庇を設置し断熱強化・日射遮蔽の向上●太陽光発電の設置	LR2 資源・マテリアル ●断熱材のノンフロン化・デッキスラブの採用	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される